



日野ムツ子さん（会員）の作品

お正月は素晴らしいお天気でした～ 今年は笑顔いっぱいの年に…！

水仙や黄色いロウ梅が忘れずに咲いてくれました。今年もどうぞよろしくお願いいたします。
長い長いコロナ禍や思いもよらぬウクライナ戦争の影響を受け、トンネルの中。私達にとって、1年は短い。気持ちだけでも元気を出して、4月に認知症カフェ「さろ～ん のおがた」を手探りで始めました。毎回、多くの当事者・家族・なかま(支援者)の皆さんが参加され、少しずつですが、なんでも話せる場、ほっとする場、元気になれる場を皆さんで作っていただいています。1月は全員で白玉あんこ餅を作り、ホッププレートで焼いて食べました。熱々で美味しく、「みんなで作って食べるといいね！」の声をいただきました。昨年はその他に終活講座①・認知症セミナー①②等開催しましたが、多くの皆さまに参加していただき、ありがとうございました。

今年はアルツハイマー病治療の新薬承認申請の結果に向けて、認知症の早い段階での気づきと早期受診へつながる取り組みもより大切になってくると思われます。少しでも笑顔いっぱいの年になることを願いつつ、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

代表 宗廣 壽美子

目 次	ページ
・ 第2回 終活講座 ご自分の「思い」をノートに…	2
・ 男性介護者のつどい	3
・ 認知症についてー輪田先生のひとことー	4
・ よこいと運動会・飯塚記念病院講演会オンライン受講	5
・ 「サングリーンそえだ」の研修会に参加して	6
・ アルツハイマーデーふれあいコンサート	6
・ みんなの広場 ～会員の皆様の交流の場です～	7～11
・ ご寄附のお礼・みんなの無料相談所	11
・ 認知症相談・認知症カフェ・家族の会に入会を	12

●行事のお知らせ

第2回 終活講座

「より良い暮らしをするための 私を知ってっちゃノートをつくりましょう！」

～ 認知症になる前から、なってからも、

ご自分の「思い」を周りの人に伝えておきましょう～

認知症になる前から、認知症になってからも、ご自分の「思い」を知ってっちゃノートに書き留め、周りの人に伝えておきましょう。

認知症ご本人の声や介護者家族の思いが医療・福祉関係者に伝わり、より良いケアを受けることにつながればと願っています。

- 日 時 令和5年2月18日(土) 13:00~15:00(受付:12:30~)
- 会 場 直方市中央公民館 3階 第3学習室
- 講 師 NPO法人 老いを支える北九州家族の会
理事 ト蔵 百合子(ぼくら ゆりこ)さん
- 定 員 60名 どなたでも参加できます。
- 参加費 無料 ※ノートは差し上げます。(A4サイズ 16ページ)
書き方を教えていただきます。少し、書いてみましょう…!
- ✿ 持参する物…鉛筆・消しゴム
- 主催・申込み先 認知症のひとと家族の会直方 Tel 090-4347-1833
✿ 事前にお申し込みください。締切り:2月16日(木)

後 援：直方市 直方市社会福祉協議会
直方市シニアクラブ連合会



ひとりで
悩まないで

みんなで
支えあおう

NPO法人 老いを支える北九州家族の会

より良い暮らしをするための

私を知ってつちやノート

私の名前は

【

年 月 日生まれ

です

NPO 法人

老いを支える北九州家族の会

令和元年作成

男性介護者のつどい



男性介護者のつどいは、介護者(経験者)が参加し、同じ立場でお話をする事で、今日を生き、明日も生きる力を共有する場です。

～今までの「男性介護者のつどい」でいただいたお声の一部～

「色々な話題があっていい時間を過ごせた」「自分の気持ちを見直すことができた」

「介護者にも笑顔が必要」「実際に介護経験のある方と話をすることができて良かった」

「同じ境遇や経験豊かな方の話は非常に参考になる」「聞くこと、話すことで気持ちが楽になる」

対象：男性介護者の方

(奥様やご両親などを介護している方やされた方、介護業務に携わる方)

内容：交流会 (小人数のグループに分かれて、参加者同士でお話をします)

第23回

令和5年1月28日(土)
10時～12時

直方市中央公民館
2階 第1学習室
(直方市津田町7-20)

第24回

令和5年3月4日(土)
13時～15時

直方歳時館
和室2
(直方市新町1丁目1-18)

▼ 申込方法 ▼

電話・FAX・メールなどにてお申込みください。

TEL : 0949-23-2551 FAX : 0949-23-2552

メール:nogta-shakyo@fuga.ocn.ne.jp

主催：社会福祉法人 直方市社会福祉協議会

共催：認知症の人と家族の会直方

認知症についてー輪田先生のひとことー

認知症と「犯罪」?

No.10

数年前、物忘れ外来を受診されたご夫婦の話の中で、「夫と買い物をしていると商品を買物籠に入れずに自分のポケットに入れてしまった。商品をポケットから出して説明しても、『何も悪いことはしていない』と言って買物籠に入れようとしな。これはどういうことでしょうか?」と相談を受けたことがありました。このような行動をとる高齢者の中に認知症の方がおられること、前頭側頭葉型認知症（ピック病）の方にこのような行動をとることがあることを知っていましたので、奥様にはおそらく認知症による行動であろうと話したことがありました。その後、高齢者の犯罪者とされた人の中に認知症の人がいることが報告されるようになり、アルツハイマー病、ピック病以外にもレビー小体型認知症にも「万引き（最近では未払い行動と提唱されています）」がみられることが分かってきました。

レビー小体型認知症は意識・注意の変動、認知機能の低下などによっておこると考えられています。

このような行動が刑事事件となり訴追された場合、裁判官に分かってもらうことはなかなか難しい状況があるようです。検察、裁判官が認知症に関して十分理解されていないことがあると言われています。また、主治医が意見書を求められたときに、「かくかくの認知症疾患があり、犯行当時の責任能力に影響を及ぼしたと推測される症状があったと考える」と書くことにはなりますが、重度の認知症であれば、裁判官も本人と面接をして、意見書を参考にして判断してくれますが、軽度認知障害から軽度の認知症の場合は、長谷川式やMMSEは20点以上が多く、裁判所における質問への理解力や発言、態度には不自然さが無い

場合も多いため、裁判官は責任能力があると判断してしまうようです。

認知症患者における米国の犯罪実態報告によると、1999～2012年の間に認知症と診断され、記憶・加齢センターで診察された2,397人の認知症患者を過去にさかのぼって調査したところ、全対象のうちの8.5%に認知症性疾患罹患中に犯罪歴があり、2,397人中の545人を占めたアルツハイマー病では犯罪率は7.4%であったのに対し、171人と総数では少ない前頭側頭葉型認知症における犯罪率は37.4%であったとされています。

研究の結論として、「中年期以降に変性性の疾患と診断され、従来のその人らしさを失ってしまった患者に遭遇した医師は、その人が法的処罰の対象にならないように擁護に尽力すべきだ」と強調しています。今後、我が国においてもこのような調査研究が行われ、認知症の人が不利益を被らないよう、医療界と法曹界との情報共有と共通理解が必要であると考えています。

注：「犯罪」?としたのは認知症の方が起こした犯罪に責任能力が問えるかという疑問を持っているからです。

(2022/07/18 記)

認知症の人と家族の会直方顧問医

輪田 順一



● よこいと運動会

主催：直方市社会福祉協議会

2022年5月8日 よこいと運動会が 直方市体育館で開催されました

よこいと運動会に参加して… 皆様と交流できることが楽しみです!

会員 勝本 美晴

5月8日(日)、「よこいと運動会」に行ってきました。

誰もが楽しめる競技で沢山の方と交流ができて、本当に楽しい一日となりました。担当のスタッフの方が沢山の種目に出られるように誘導して下さり、大玉転がし・玉入れ等、夫婦仲良く運動会を楽しむことができました。

夫が64歳の時、若年性アルツハイマー型認知症になり、中央公民館で行われていたセミナーに参加し、とても親切な担当の方と出会うことができました。その方の紹介で、今主人は送迎付きの仕事(事業所)で働いています。

とても生き生きと仕事を頑張っている姿を見て、担当の方には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

夫は人と接することが苦手なので、“家族の会”に入会して様々な人と出会い、会話ができて本当に良かったです。これからも、皆様と交流できる機会を楽しみにしています。



● 飯塚記念病院講演会 希望会員はオンライン形式で受講 会場：中央公民館

日時：2022年7月9日(土) 13:00~16:00

場所：のがみプレジデントホテル：zoomによるオンライン形式もあり

基調講演：

① 『認知症とともに生きる』 講師：丹野智文氏

② トークセッション『丹野さんと竹内さん』

聞き手：竹内 裕氏



～ 受講しての感想 ～

☆丹野さんのエネルギッシュなお話に心を打たれました。

主人に対しての自分の対応に反省を感じます。主人も涙を流して聞いていました。 介護者

☆丹野様に、当事者の思いやオレンジドアの取り組みを分かりやすく、熱っぽく語っていただきました。今後、認知症ケアに役立てたいと思いました。

、パワーポイントで詳しく分かりやすい内容で説明され、当事者、丹野様、竹内様のユーモアを交えた会話で進行されて大変良かったです。 介護福祉士

☆丹野さんのお話、うなずく事ばかり。一にも二にも勉強になりました。

☆当事者の方の生の声が聞けて、とても良かった。

☆当事者同士のつどい、本当に目からうろこの感じでした。

☆「病院、お医者さんにしかできないこともある(丹野さん)」に共感しました。パーソンセンタードケアに取り組まれている貴院の活動に期待しています。

また、今日の成果をどう活かしていけるのか気になるところです。

☆若年性と高齢者を分けるのではなく…とのお話や当事者(丹野さん)の熱意や理解しやすいお話に感動しています。

● 「サングリーン そえだ」の研修会に参加して

10月26日 福岡県主催の「身体拘束ゼロ見学会」に

会員・武井ゆう子さんと二人で参加しました。

当日は、見学会が実施される予定でしたが、コロナ禍の関係で施設見学はできませんでした。しかし、施設の理念等を拝聴し、身体拘束についても「利用者の尊厳ある生活を阻むものである。利用者の尊厳と主体性を尊重し、拘束を安易に正当化することなく、職員一人一人が身体的・精神的被害を理解し、廃止に向けた意識をもち身体的拘束をしないケアの実施に努めている。抑制廃止委員会を定期的に行い、研修・実施等を行っている」とのことでした。

その他、施設スタッフの声として「人手不足」との点が挙げられていました。食事が全介助の利用者の例として、数十分かかるとして、他の利用者の介護に時間がとれない。大変だろうと思い、「食事介助にボランティアを活用しては如何か？」と提案したところ、「現在はコロナ禍の関係で外部の人を入れていないが検討したい。」とのことでした。

今回の研修は、私個人としては老人ホームか施設かにいずれは入所を考えている中、施設選びの指標として大変勉強になりました。ありがとうございました。研修に参加させていただき感謝しています。



会員 富山 龍子

● アルツハイマーデー ふれあいコンサート

日時：10月27日（木）13：00～14：10

場所：直方市中央公民館 第4学習室

演奏：直方ギター&マンドリン同好会

15名の皆さん

★直方ギター&マンドリン同好会の方々をお迎えしてのコンサートです！
★懐かしい曲を聴いて、みんなと楽しい時間を過ごしました！



コロナ禍でお家生活や人との交流の少ない毎日の中で、久しぶりに生の音楽に触れ、鬱積した心が癒される思いでした。

また、奏者のギター&マンドリン同好会の皆さんは70代や80代の方々とのこと。演奏する様子は若々しく生き生きとされ、「目的を持って生活している人は輝くのだなあ…」と思いました。

演奏も昔懐かしい曲や、つい口ずさんでしまう様な曲で進められ、心弾んだり、現況のウクライナを舞台とした「ひまわり」の曲は、若き日の回想と映画の記憶と複雑な心境で、知らず知らずのうちに涙を流しながら聴き入ってしまいました。

演奏を楽しみながら、二つのことを感じました。

一、音楽は人の心を動かすこと。

一、年齢は関係なく、楽しみを持ち、人と集う事で、活力のある生活が保てるということ。

今回の家族の会のふれあいコンサートに参加して、音楽の余韻と共に、こんなことも心に残った有意義な一日でした。

70歳代 女性

●みんなの広場

～会員のみなさまの交流の場です～

皆さま、お元気ですか？

令和4年5月以降にいただいたお便りを紹介します。

❖家族の会に入会できて良かったです。

色々な人と交流ができて、お話ができてうれしいです。認知症の事を学んでいきたいと思いますので、よろしくお願いします。

ニックネーム みーちゃん

❖皆さんにお会いして、体験・経験した事をお聞きして、日々の生活と考え方を参考にさせていただきたく、これからもよろしくお願いします。

ニックネーム JUN

❖4年2月、大事な友達が天国へ。あんなに元気に…。でも、友達は最後まであきらめず、最後までメールをありがとう。忘れないよ。本当にありがとう。

ニックネーム おばあば

❖いつも丁寧な御案内とお誘いをいただき感謝しております。自動車の免許を取り上げられて、ウツウツとしております。お会いできるのを楽しみにしています。

❖「さろ～ん のおがた」に参加しました。色々な話が聞けて参考になります。

❖4月から「さろ～ん のおがた」に行っています。みんなと話をしています。

❖御無沙汰しております。皆様の元気なお顔が一日も早く見られますように。

❖いつもお世話になっています。皆様の活動に感謝の念でいっぱいです。あと2年ぐらいしたら、皆様と一緒に行動できると思います。でも、その年には85歳になります。(笑) よろしくお祈りします。

❖週3回、デイケアに老妻が行っています。行った日は帰った時の表情を見て柔らかな気持ちになっているのを確認し安堵しています。帰宅の後、「がんばったね。ごくろうさん！」の声掛けをしています。「おとうさん」「トイレ」「寝る」の3つの言葉を優しく受け止め、対応に務めるようにしています。迎えのデイケアのバスに乗った後、手を振って見送り、お互い気を配っています。“出て行く妻を気持ちよく、帰宅の時も労いを”

ニックネーム Y.K

❖母は脳梗塞で3/27から入院し、今、回復しつつ、リハビリに頑張っています。私自身も4/6に肩～肩甲骨にかけて痛み、検査をしたら頸部脊柱管狭窄症とのことだったので、母を病院に入院させたまま、私は4/28に入院し、4/30に手術をして、今はリハビリを頑張っています。5/11に母と同じ病院に転院して、自宅に帰れるように頑張っています。

瀬古 一昭

❖お疲れ様です。少しずつですが活動ができるようになってきていますね。

✧いまだにコロナの状況は改善しませんが、以前と変わらず予防しております。いつもお世話になり、ありがとうございます。

✧いつの間にやら令和も4年に入り、気付けば5月の連休中。現在の世界状況も不安定さを増しつつある中ですが、私達の生活にも物価高に影響を及ぼしている次第です。早く安定した生活ができるように祈っている今日この頃でございます。

✧直方市をはじめ直轄地域に認知症医療センターが未設置であることを残念に思っています。少し場所は遠いかもしれませんが、飯塚記念病院 福岡県認知症医療センターが当事者・ご家族・支援者の皆様、そして家族の会の皆様のお役に立てればと思っていますので、今後共よろしくお願いいたします。

ニックネーム エガちゃん

✧いつもお世話になります。5月14日は芦屋町の家族の会のイベント開催と重なっており、参加することができません。貴会の益々のご発展を祈念しています。

✧今年度は出席したいと思っていましたが、私事にて欠席させていただきます。実姉が寝たきりで7年目となり、胃ろうからの逆流で肺炎となることが何回かあります。体力の低下(免疫力)で一回の治療では改善できなくなりつつあります。厳しい現実を親族一同受け入れざるを得ないようです。

✧介護施設に入居しています。外出できませんので欠席致します。よろしくお願い致します。

✧腰を痛めて、歩くのもやっとです。みなさま、一寸した事にお気をつけくださいませ。

✧お元気ですか？ コロナウィルスの収束が見えない中、なかなか集まったりすることが難しい状況が続いているかと思えます。家族の会に、随分とご無沙汰しております。

✧早くコロナが落ち着きますように願っています。

✧柿の若葉が目にしみました。心地よい季節がずっと続くといいですね。

ニックネーム わかば

★ マックスバリュ 直方新入店の
イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン ★

毎月11日に買い物をされた時、黄色いレシートを「認知症の人と家族の会直方」の箱の中に入れてください。箱はレジの近くに置いてあります。金額の1%が当会に還元されますので、ご協力をお願いします！

「認知症の家族になって」

70歳(10月生まれ)の古希を迎えた時、夫は「アルツハイマー型認知症」と診断されました。思えば一年くらい前からその兆候があったような…。

当時、孫を小学校に送って行っていたのですが、「〇〇は学校に行ったか？」と何度も言うのです。また、地域のお世話係をしていたのですが、会議の日時を忘れて連絡があり、慌てて行ったりしていました。私は「単に忘れていたのだなあ」と思い、気にもしていなかったのですが、ある時、周りの人から「最近、ご主人の様子がおかしいよ」と言われ、ハッとしました。思い当たることが次々と浮かんできたのです。

「もしかしたら…」という気持ちと、「そうでない様に…」という気持ちとが混ざり合い複雑でした。すぐに病院に行き、検査の結果「アルツハイマー型認知症」でした。海馬の萎縮が見られ、記憶がだんだんなくなるとのこと。「認知症…この年で…」と私は夫が可哀そうになり、「まだまだ楽しい事やりたい事もたくさんあるのに…」と同時に、「私が夫を守り、寄り添っていこう」と思いました。そんな中で、“家族の会”の世話人さんと知り合いだったので、色々と話を聞いて頂き、また相談にものって頂き、気持ちが安らぎました。

現在4年が経ち、記憶障害や一時は暴言・暴力(物を投げたり、蹴とばしたり…人を叩くことはしなかった)等があり、私もそれなりに対応し、落ち着いた生活を送っています。デイサービスにも行くようになり、「今日は何かした？」と聞くと、「行ってない」と言い、また「今日はデイの日よ」と言うと、「何時に迎えに来るか？」と待つようにもなりました。

コロナが大分収まってきたので、“家族の

会”や“認知症カフェ”にも参加させて頂き、本人もおしゃべりができ、私も皆さんとお話をしてストレスを発散しています。

“家族の会”や“認知症カフェ”は知人や友人には言いにくいことも、同じ境遇の人なら話しやすい『場』として大切にしたい場所です。お世話をしていただいている皆様に感謝し、私達家族も一緒になって、この『場所』を続けていきたいと思います。

今も、もの忘れはもちろん、日々症状は進んでいますが、「心穏やかにゆっくり笑って過ごせたら…」と思います。

会員 田代 英子



「地域福祉セミナーに参加して」

人生百年時代といわれていますが、単純に喜んでばかりはいられない様です。人は年を重ねるごとに、足腰、内臓と様々な機能が衰え病気になりますが、その一つに脳の病気があります。

相手が誰か分からなくなる、自分がどこにいるのか分からなくなる、普段当たり前に行っていたことが突然できなくなるなど、本人ではどうにも対処の仕様がなくなります。

自分が自分でなくなる事が自覚できるが、自分では何の対処もできない。本人の怒りや困惑はいかばかりでしょうか。

予防するには日頃から食生活に気を配り、人との交流により気持ちを生き生きと保つことが大事なようですが、この病気にかかってしまったら、周りの援助が無ければ健康に生きていけません。介護施設等の社会資源と共に家族の理解、援助が不可欠になります。

先日男性介護者のつどいに参加した時、参加者の一人の「人間修行と思って介護しています。」という言葉聞き、「相手のためにしてあげている」という認識ではなく、「自分のためになっている」という気持ちで関わっている姿に胸を打たれました。

認知症に対する家族の介護は大変なことも多く、どうしても余裕がなくなりがちですが、この様に人間の尊重という問題に真剣に向き合わなければならぬと思いました。

会員 石黒 章友



「母の介護を終えて」

母は、現在、福岡市市内の病院にいます。コロナのため面会はできません。

昭和12年生まれの母は、昭和57年に夫を癌で亡くし、女手ひとつで、私と妹の二人を教員として社会に送り出してくれました。妹は、現在、家族を築いていますが、私は平成3年に精神疾患を患い、40歳のとき依願退職をしました。このとき母は「どこで狂っ

たかね」とつぶやきました。

私は、塾、家庭教師をしていましたが、母の失敗が時々見受けられました。たとえば、鍋を焦がしたり、洗剤を入れず洗濯をするなどでした。

私のDrの勧めで、厚生年金病院で母の診断をしてもらいました。東日本大震災のフラッシュバックによるアルツハイマーと診断されました。また、13年間飼っていたマルチーズの死と車の高齢者講習のことでパニックだったようです。

母は、車の免許を返納してから方向感覚がなくなっていました。私のDrからのアドバイスでトイレの電気は点けっぱなしにしていました。また、知人からのアドバイスでお薬カレンダーを、私の判断で玄関のカギをかけないこと、トイレのドアは開けた状態にすること、部屋の出口にのれんをつるすことなど、先手を打って日々過ごしていました。

さすがに、新規で作った入れ歯をトイレに流したこと、お掃除ロボットのルンパに小便をかけられたことは、笑うに笑えませんでした。

取っ組み合いのケンカもしました。ときには、母の手には包丁を握っていることもあり、徘徊の時は、私は追いかけて待機していました。家を出て行って2時間が母の限界だと思っていました。案の定、警察に保護されたり、見知らぬ親切な方から連絡がきて、迎えに行くたび頭を下げ、「怒らないでください」と言われました。一方で、隣の家の方からは、「介護難民」と揶揄されました。

家族の会の存在を知ったのは、偶然コンビニで手にした市報に掲載されていたアルツハイマーコンサートの会でした。コンサートの前の20分ほどの話を聞き、「こんな情報があったんだ」と驚き、それから可能な限り学習会に参加しました。

直方、宮若、芦屋、小倉と母を連れて参加

しました。小倉でのユマニチュードのDVD鑑賞の最後に「SOSを出してもいいんですよ」の一言に号泣もしました。

世の中がコロナでざわつき始めたころ、我が家は極限状態に日に日になっていきました。

昼夜逆転の生活、母が私を泥棒と呼び、殴る、蹴る、すねる、最後には家から追い出される。「お前、いじめがいがあるなあ」

カラオケ好きの母を、直方の有楽町に連れていき、いつも「青い山脈」を歌っていました。私ができた唯一の親孝行だったと思います。

シモの世話は、母を施設に入れるきっかけになりました。小便、大便、紙パンツ、介護をする上で避けては通れない道です。

介護をしている知人から「お父さんが廊下でうんこをしていても、家族の人は笑っている」という話を伺いましたが、私は、その境地には至れませんでした。

デイサービスに母を預けることにより、母が気持ち良い時間が過ごせると思っていたが、その時間が、私にとって自由になる時間ということも分かりました。ヘルパーさんにも、週一回、入浴介助に来てもらっていましたが、入浴を拒否することもありました。そのような時は、私が体を洗っていましたが、最後あたりは、一緒にお風呂に入っていました。

ヘルパーさん、ケアマネさん、デイサービスのスタッフの方々、感謝、感謝の言葉でいっぱいです。

会員 茶々丸

もの忘れ相談 お待ちしています！

家族の会から、輪田順一医師・福岡県認知症介護指導者・その他専門職が協力



～ご寄附のお礼～

安永 佳江 様 立山 利博 様

過分なご寄附 ありがとうございます。
長年温めてこられたお気持ちを尊重申し上げ、認知症の人と家族が安心して暮らし続けることができる地域づくりの事業の発展充実のために、大切にに使わせていただきます。

心より厚くお礼申し上げます。

みんなの無料相談所

■ 日時 2月26日(日)

13:00～15:30

■ 会場 イオンモール直方 2F
イオンホール

■ いろんな相談をお受けします

～ 専門家がお待ちしています ～

司法書士 弁護士 医師(皮膚科・内科・胃腸科) もの忘れ相談 介護福祉相談
一級建築士 自動車関連 宮司 IT 関連
保険関連 企画デザイン関連 …

■ 主催 直方中央ロータリークラブ

■ 連絡先 Tel 0949-22-1091



認知症相談

(直方市社会福祉協議会から委託されています)

と き：面談：毎月 第4水曜日（祝日のときは第3水曜日）13：00～16：00
電話：直方市社会福祉協議会 開所日の10：00～16：00
ところ：直方市社会福祉協議会 直方市津田町7番35号（直方郵便局前）

❖専門職や介護経験者が面談や電話による相談をお受けしています。
秘密は厳守しますので、安心してご相談ください。

電話番号：0949-23-2551



認知症の人と家族が寄り添う居場所づくり 認知症カフェ「さろ～ん のおがた」へおいでください！

～ 何でも話せる場 温かいみんなと一緒に過ごせる場をつくりましょう ～

認知症の本人と家族が定期的につどい、みんなでおしゃべりをする場。自分がしたいことやできることをすることで役割を持てる場。みんなでここに元気になれる居場所づくりをしましょう。一緒にお手伝いをしてくださる方（なかま）も大歓迎です。皆さん、お待ちしております！

- 日 時 毎月 第1土曜日 13：00～16：00
2月4日(土)・3月4日(土)・4月1日(土) ……
- 場 所 直方歳時館 新町1丁目1番18号（新町公園前）
♪福智山とお庭を眺めながら、お話をしましょう！
- 参加費 会員 100円 非会員 200円
※ コロナ禍の状況により、中止になることがあります。

❖ 2月4日（土）節分、3月4日（土）ひなまつり、
4月1日（土）花見などの催しを予定しています。



家族の会にご入会を！

介護をされているご家族や当事者の方、専門職、ボランティアの方、認知症について学びたいと思っている方など、どなたでも入会できます。（年会費：1000円）

色々な行事などを行っています。当事者、介護者どうしでのお話の場もありますので、地域の方や身近な方に、お声をおかけください。お尋ねやご入会については、下記の連絡先にお気軽にご連絡ください。



認知症の人と家族の会直方

❖ 直方市公式ホームページ検索⇒認知症の人と家族の会直方

事務局 〒822-0026 直方市津田町7番35号 直方市社会福祉協議会ボランティアルーム内
連絡先 電話 090-4347-1833